

研究タイトル：

近現代日本の政治・社会と宗教に関する研究

氏名：	出口 颯涼／ DEGUCHI Sosuke	E-mail：	s-deguchi@fukui-nct.ac.jp
職名：	助教	学位：	修士(歴史学)
所属学会・協会：	国史学会、首都圏形成史研究会、史学会、日本歴史学会、日本選挙学会、九州史学研究会、日本近代仏教史研究会		
キーワード：	日本近現代史、宗教史、仏教、選挙		
技術相談 提供可能技術：	・自治体史編さん ・歴史資料の整理、目録作成		



研究内容：

近現代日本における政治・社会と宗教との関係について研究しています。

明治時代に日本で選挙制度が導入された際、宗教家には参政権が付与されていませんでした。そのため、大正期には仏教界が先頭に立って、宗教家への参政権要求運動が展開されていました。その結果、満 25 歳以上の男子に参政権を付与した 1925(大正 14)年の衆議院議員選挙法の改正、いわゆる男子普通選挙法が成立した際、宗教家の参政権も認可されました。こうして参政権を得た宗教家は、男子普通選挙にどのようにかかわっていったのかを僧侶を中心に検討しています。また、選挙にかかわったことによる僧侶の政治・社会活動の変化や、仏教教団、仏教界全体にもたらした影響、さらには宗教行政についても検討しています。

このほか、大戦間期の東京市郊外における土地区画整理事業や、戦後日本の公文書管理についても研究したことがあります。

これまで、歴史資料館や、出身大学の研究プロジェクトにおいて歴史資料の整理、目録作成をした経験を有しています。この経験を生かして、地域の歴史資料の整理に携わることで地域貢献ができればと考えています。